

2018 年 8 月 31 日

鹿児島県知事 三反園訓様

公開質問状

「川内原発 3 号機増設のための保安林解除・盛り土造成工事ではないか」
との疑義について

ストップ川内原発！3.11 鹿児島実行委員会

事務局長 杉原 洋

〒892-0873 鹿児島市下田町 292-1

電話 099-248-5455 Fax 099-248-5457

昨年来、川内原発敷地内では、保安林の伐採および、沈砂池の建設、大規模な盛り土工事が行われています。九州電力、鹿児島県森づくり推進課の説明によれば、「特重施設（特定重大事故等対処施設）建設に伴う資機材保管ヤードの造成」ということですが、川内原発 3 号機増設につながる重大な疑問点が浮上しています。

三反園知事が、先の知事選挙において「脱原発」を公約の大きな柱として闘い、当選されたように、原発問題は県民の最大の関心事の一つです。川内原発敷地内の大規模工事が、私たちが反対している 3 号機増設の事前着工ではないかとの懸念が浮上している以上、下記の質問事項にははっきりと回答いただき、県民の不安を一日も早く払拭していただくようお願いいたします。

なお、回答の締め切りは、9 月末日までとさせていただきます。

記

【保安林解除申請の手続きなどについて】

質問 1 九州電力は 2016 年 6 月 28 日、鹿児島県知事に対して川内原発敷地内の保安林指定解除申請を行いました。県は同日受理し、翌 17 年 4 月 7 日に県森林審議会に諮問し、同年 4 月 27 日には、実質的な保安林伐採許可である「予定告示」を行いました。

三反園知事は、この九州電力による保安林指定解除申請の区域が、川内原発 3 号機増設の事業実施区域と重なっていることを認識していましたか。

質問 2 三反園知事は、伊藤祐一郎前知事の「私の在任中は 3 号機増設に係る諸般の手続き（注：保安林指定解除および公有水面埋立許可）を凍結したい」との県議会答弁（2012.6.1）を当然承知されているはずですが、今回の保安林指定解除手続きに当たっては、伊藤前知事答弁とは異なる対応がなされています。何らかの方針変更があったのでしょうか。

質問 3 農水省の保安林指定解除の標準処理期間によれば、「予定告示」は通常、申請受理から 3 カ月以内で行われますが、今回は 10 カ月を要しています。なぜ 10 カ月もかかったのですか。その理

由をお答えください。

質問 4 九州電力は 2015 年 12 月 17 日、原子力規制委員会に対し、特重施設設置のために原子炉設置変更許可申請を行い、17 年 4 月 5 日に、同委員会から許可されています。三反園知事が県森林審議会に川内原発敷地内の保安林指定解除を諮問したのは、その 2 日後の 17 年 4 月 7 日でした。県森林審議会への諮問は、特重施設設置に絡む規制委の許可を待って、行われたのではないですか。お答えください。

九州電力が鹿児島県知事に保安林指定解除申請をした 16 年 6 月 28 日時点において、原子力規制委員会は九州電力に「特重施設設置に絡む許可」を出していません。九州電力が保安林指定解除申請にあたり、その目的として「特重施設建設に伴う資機材保管ヤードの造成」などという文言を使用したのであれば極めて不自然です。16 年 6 月 28 日時点で、「特重施設建設に伴う」などの文言はあったのでしょうか。お答えください。

【現在進行中の敷地内大規模工事と川内原発 3 号機増設について】

質問 5 保安林伐採後、敷地北側には沈砂池が設置されています。川内原発 3 号機増設のための工事計画図（環境影響評価書）によれば、同じところに同様な沈砂地が計画されています。

三反園知事はこの事実を知っていましたか。

質問 6 保安林伐採後、敷地北側の沈砂地を除く一帯に、現在、大規模な盛り土工事が進行していますが、この盛り土工事にかかわる「保安林解除調査地図」を見ると、川内原発 3 号機増設のための工事計画図（環境影響評価書）の盛り土予定区域と重なります。また 3 号機増設工事の完成予想図と、ほぼ同様の仕上がりが予想されます。

三反園知事は、この事実を知っていましたか。

質問 7 万が一 3 号機が増設されるとして、現在造成されている沈砂地および盛り土がそのまま活用されとなれば、現在の大規模工事は、客観的に 3 号機増設の事前着工と見なすべきではありませんか。

三反園知事は、現在の大規模工事が 3 号機増設工事の事前着工ではないと担保できるものを示してください。

以上